

特命全権大使 岩切敏よりご挨拶



皆様、こんにちは。

在マラウイ日本国大使館のホームページをご覧いただき、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本及びマラウイを含む全世界において、人々の毎日の生活から国家の政治・経済まであらゆる面に深刻な影響を与えました。新型コロナウイルス感染症で犠牲になられた方々の御家族・関係者に心からお悔やみを申し上げるとともに、新型コロナウイルスの感染拡大により影響を受けられた方々にお見舞いを申し上げます。

治安面では比較的安定と言われていたマラウイですが、新型コロナウイルス感染の脅威、そして、悪化する経済から来る日々の治安の懸念から、在留邦人の皆様の安全と健康をお守りしていくことは、大使館としての重要な役割です。このため、安全情報等の発信も含め、所要の安全対策措置を引き続き講じて参ります。

新型コロナウイルスに加え、昨年はマラウイにとって変動の年でした。マラウイは、アフリカ大陸において裁判所が大統領選挙のやり直しを言い渡した二例目の国となり、また、アフリカ大陸史上初めて大統領再選挙において野党が勝利した国となりました。そんなアフリカの民主主義のお手本となったマラウイと日

本との関係は歴史があり、1964年にマラウイが独立した直後から、常に友好的な関係を築いてきています。特に、国際協力機構（JICA）海外協力隊は世界最大規模の派遣実績を有しており、今年は最初のJICA海外協力隊派遣から50周年を迎え、良好な日マラウイ関係の金字塔となっています。

新型コロナウイルスの影響が多岐にわたる中、ポストコロナのマラウイにおける持続可能な開発に向けてどのような支援協力を実施できるか。来年にチュニジアにおけるTICAD8（第8回アフリカ開発会議）をひかえる中、マラウイ国民の一人一人が日本の支援を享受できるような協力を大使館として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

日本では知名度の低いマラウイですが、一人でも多くの方にマラウイの素晴らしさを知っていただけるよう、2025年大阪・関西万博におけるマラウイの積極的参加の働きかけを含めて、微力ながら努力して参ります。これからも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

駐マラウイ日本国特命全権大使
岩 切 敏